



Application

電気泳動色素入りPCRマスターミックスによる 簡便マウスジェノタイピング

製品名

KAPATaq EXtra HotStart ReadyMix with Dye (KK3607)

メーカー名

KAPA BIOSYSTEMS 社

下記のデータは、愛媛大学大学院 医学系研究科 分子病態医学のお客様のご厚意により掲載させて頂きました。

方法

KAPATaq EXtra HotStart ReadyMix with Dye

● PCR用試薬

KAPATaq EXtra HotStart ReadyMix with Dye (KK3607)

● 反応組成

・PCR Grade Water	: 9.5 μ L
・2x KAPATaq EXtra ミックス	: 12.5 μ L
・Fwd Primer (10 μ M)	: 1.25 μ L
・Rev Primer (10 μ M)	: 1.25 μ L
・Template	: 0.5 μ L
Total	: 25 μL

● PCRサイクル条件 (両製品共通)

94°C	1min	} 35サイクル
98°C	10sec	
58°C	30sec	
72°C	1min	
4°C	∞	

電気泳動
(各反応液10 μ Lをそのまま使用)

マウステール
↓
細胞溶解 (ProK)
DNA抽出
↓
PCR
↓
電気泳動

従来法 (他社)

● PCR用試薬

他社製品

● 反応組成

・PCR Grade Water	: 13.8 μ L
・10 × Buffer	: 2 μ L
・dNTP Mix (2.5mM)	: 1.6 μ L
・Fwd Primer (10 μ M)	: 1 μ L
・Rev Primer (10 μ M)	: 1 μ L
・Template	: 0.5 μ L
・Polymerase	: 0.1 μ L
Total	: 20 μL

● PCRサイクル条件 (両製品共通)

94°C	1min	} 35サイクル
98°C	10sec	
58°C	30sec	
72°C	1min	
4°C	∞	

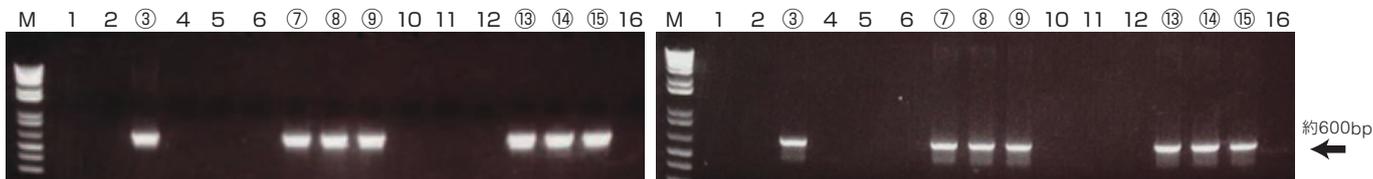
各反応液10 μ Lに電気泳動用バッファー添加

電気泳動

結果

● KAPA

● 他社 (従来法)



どちらも同じジェノタイピング結果が得られました。
増幅効率については、KAPATaq EXtra HotStart ReadyMix with Dyeのほうが、より良好であることが示されました。

電気泳動条件
2%TAEアガロースゲル 100V 30min
各反応液10 μ Lアプライ (マーカーのみ5 μ Lアプライ)



お客様のコメント

ホットスタート付きマスターミックスなので、試薬の調製が簡便。
また、電気泳動色素入りのため、PCR後にいちいち添加する手間が要らなかった。
このように使い勝手が良いだけでなく、増幅効率も良い。

